



大成っ子

さいたま市立大成小学校

学校だより 5月号

令和元年 5月7日(火)

お互いを認め合う、豊かな人間性を育むために

校長 長島淑子

新緑がまぶしい季節となりました。いよいよ「令和」の始まりです。

地域の皆様、保護者の皆様には毎日の見守りや、行事へのご協力、誠にありがとうございます。

先日の4月26日、本校では離任式が行われました。昨年まで本校でお世話になった先生方11人がおいでくださいました。懐かしい顔がそろると、子ども達も、先生方もなんだかほっとした温かな気持ちになりました。お一人お一人紹介していると、2年生のあたりから、すすり泣く声が聞こえ、おいおい泣き出す子もいました。ご栄転された先生方の心の支えはこんなにも大きかったのだと改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。「保護者・地域の皆様にもお世話になりましたとお伝えください」とのことでした。都合がつかずに参加できなかった方々を合わせて20名の教職員の皆様、本当にありがとうございました。皆様のご健康と、新天地でのますますのご活躍をお祈りいたします。

さて、10連休が明けた本日の講話朝会で、子どもたちに、こんな話をしました。

「学校にはいろいろな子がいます。学習面や生活面すべての発達が年齢相応に進んでいる子もいれば、学習面では、特定の科目が大変よくできるけれど、生活面ではコミュニケーションが苦手な子や、その反対に学習面で集団での学びに困難があり、少人数なら集中できる子もいます。集団では集中できないけれど、個人的に支援すれば、すばらしい力を発揮できる子もいます。勉強ができる子、足が速い子、スポーツが得意な子、駅名や県名などを覚えることが得意な子、優しい子、面白い子、絵が上手な子、字が上手な子、一人ひとり良いところがあり、その部分は人それぞれ違います。どれもその子の個性であり、一人ひとりのニーズに合った支援をすることができれば、それぞれの力が発揮できるようになります。また、集団の中での本人の困り感を和らげてあげることもできます。通常の学級にいても、必要な時は、特別支援学級で少人数での指導を受けることもできます。特別支援学級とはそんな学級です。また、特別支援学級があることで、そのような困り感のない子にとっても「世の中にはいろいろな人がいるんだ。みんなちがって、みんないいんだ。」と互いに認め合い、豊かな人間性を育むことができます。大成小学校は、そんな特別支援学級を温かく包み、大切にしていきたいと思えます。」(要約)

すべての子どもが互いに認め合い、安心して生活できる学校づくりを目指すという思いを込めて今日のお話をしました。子どもたちがどのように受け止めてくれたか、ご家庭でも聞いてみて、うまく伝わっていないようでしたら、補っていただければと思います。

今月の生活目標
廊下は静かに右側を歩こう



<御家庭でも呼びかけをお願いします>

家でもあいさつ

家庭・地域・学校で元気なあいさつを心掛けましょう

ゲームは1日30分まで!

ゲームばかりやっていると、ゲーム脳になってしまいます。

家庭でしっかりルール作りをお願いします。

早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち

毎日の大切な生活習慣です。規則正しい生活をしましょう。

お願い

- 4月9日（火）に、今年度はじめての一斉下校を行いました。全員が安全に登下校してほしいと思います。保護者の方々には、お子様の安全な登下校のために日頃より大変お世話になっております。また、防犯ボランティアの皆様にも1年間お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。
- 学校・学年・学級だよりやパンフレット、研究冊子等で児童の活動の様子を写真等で掲載させていただきます。写真や名前の掲載を望まない場合には担任までお知らせください。
- 道路でスケートボードやキックボードで遊んでいる子どもがいて、危険な場面や、周りに迷惑をかけている場面があるというお話が地域の方から寄せられました。学校でも全校児童にお話ししましたが、御家庭でも、たとえ自分の家の前でも、道路では遊んではいけないこと、安全のためにも、迷惑をかけないためにも、交通ルールをまもることなど、御確認いただきたいと思います。
- 連休明け、生活リズムが戻るまで、体調管理を心がけながら、子ども達が安全に元気に過ごせるように、御家庭で話し合うなど、御協力をお願いします。